

南摩中地域コーディネーター 福田修久さん



Q 地域コーディネーターになったきっかけは何ですか？

自分の生業が制服販売でした。地域にお世話になっているとの思いから、何か地域の役に立ちたいと考えていました。

ちょうど、中学校から「地域コーディネーターになってほしい。」という依頼があり、自分で役に立てることがあればと思い引き受けました。

それまで、小学校や中学校のPTA会長などもしていたことがあり、また、「西沢お囃子保存会」でボランティアなどをしてきたことから声がかかったのかと思います。

Q コーディネーターとしての研修などは受けましたか？

平成14年度からの完全学校週5日制に伴い、その前から文部科学省の学校週5日制に対する地域への啓発として

子どもは地域で育てましょう。

地域の人たちとのふれあいが多く子どもほど地域活動への関心や日常生活への充足感が高い傾向が見られます。このため、地域では、子どもたちがのびのびと遊べる場づくりや様々な人々との多様な交流活動や親子で参加できる様々な活動の機会や場を提供したり、指導者やボランティアとして、積極的に子どもたちと関わりながら地域ぐるみで子どもを育てていく意識を高めていきたいと思います。

※文部科学省HPより

このような目標が発表され、中学校の校長先生を中心に研修が企画され、何度か研修を受けました。また、鹿沼市としてもコーディネーター研修を設けてくれたので、年2回以上のペースで研修を受けてきました。

Q コーディネーターの主な仕事は何ですか？

一番の仕事は、「**学校と地域を繋げる**」ことです。日頃からの人間関係づくりが大切だと思っています。その中で、学校から依頼される条件に合った人を紹介しています。



Q 学校と地域の連携はどのように行っていますか？

①学校運営協議会の委員として

南摩中学校の学校運営協議会の委員になっています。その中で、地域コーディネーターとしてできることをしています。

先日、南摩中の第2回学校運営協議会に参加しました。その日は、南摩中の生徒との意見交換会でした。中学生が意見を積極的に言っていたのに、驚きとうれしさを感じました。少ない人数（5～6人のグループ）での意見交換会というのがよかったのだと思います。生徒ならではの目線で、塀が斜めになっているという指摘もよかったです。声をあげる大切さを再認識しました。また、「南摩フェス」（南摩のお祭り）に企画段階から参加させてほしいとの意見にも感動しました。先輩の受付の時の笑顔や踊っているときの躍動感とかを見てあこがれて、先輩のようになりたい、という言葉も心に残りました。



南摩中学校の学校運営協議会です。
中学生が積極的に意見を述べていて驚き、同時に嬉しく思いました。

②学校に足を運ぶ

特に、草刈などを通して学校に足を運んでいます。南摩は、「南摩草刈ボランティア」があり、25人くらいが在籍しています。以前、草刈をPTAの奉仕作業と協働して行ったことがあります。そこでは**地域の人々との交流**があって大変良かったです。

また、その日だけでは学校の草刈は終わらないので、その後も行った覚えがあります。

その中で思っていることがあります。

学校は、地域に遠慮していると思うのです。
遠慮せず、もっと地域に頼んでもよいと思います。
声をかけてもらえば、地域の方は喜んで協力します。
どうぞ、遠慮なく声をかけてください。



Q コーディネーターのやりがいは何ですか？



「喜んでもらえる嬉しい」この一言に尽きると思います。

今日、南摩小学校で6年生の「お囃子の授業」を行いました。その中で、子供たちが真剣に取り組んでくれたり、思いがけず大きな掛け声をかけてくれたりする姿を見て、大変うれしく、やりがいを感じました。



この日は、「西沢お囃子保存会」のお仲間と一緒にボランティアです。1時間の授業でしたが、6年生は、短時間で見事に演奏を合わせ、元気な掛け声とともに素晴らしい演奏を披露しました。

Q コーディネーターの苦勞は何ですか？

- ・学校で探してほしいという人材が見つからない時です。申し訳ない気持ちになります。
- ・自分の引き出しにないものを頼まれるときも同様です。

Q コミスクでの連携・協働はどのように行っていますか？

地域コーディネーターとして連携しています。

「西沢草刈ボランティア」が、広域になって、「南摩草刈ボランティア」に名称が変わりました。そのメンバーとのつながりを大切にしています。さらに、協力してくれそうな方にも声をかけるようにしています。

余談ですが、電話だと記録が残らないので、はがきを出して活動日を知らせています。高齢者もいるためメール等は使っていないのです。

Q 最後に何かお話ししておきたいことがございましたら…

- 学校は、遠慮せず地域に頼ってほしい。
- 地域は、学校は敷居が高いと思わずに、気軽にボランティアに参加してほしい。



福田さん、ボランティアでお疲れになったところ、取材も快くお引き受けくださり、大変ありがとうございました。笛の演奏も素晴らしかったです。子供たちのために何度も笛の演奏をしてくださり、息が続くことの驚きとその優しさに頭が下がりました。

皆さんそうですが、福田さんのお人柄のすばらしさに心打たれます。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」を思い出しました。

これからも南摩のために、お体に気を付けてご活躍ください。

本当にありがとうございました。

